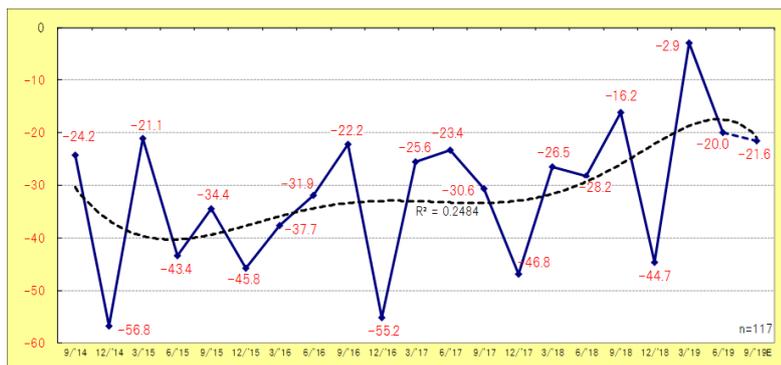


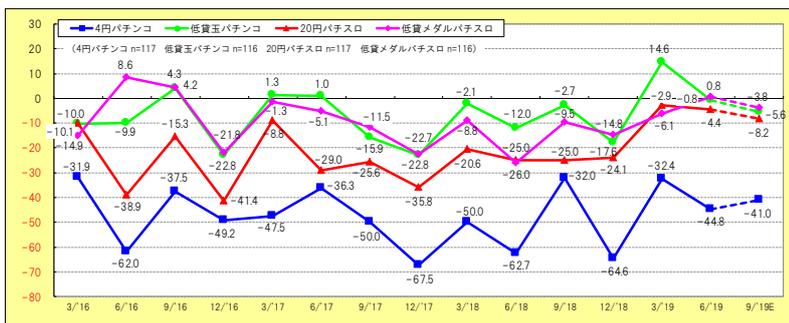
第77回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書 2019年7月

要点

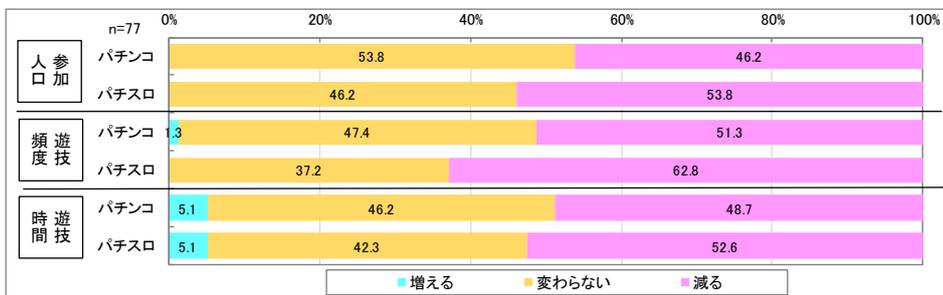
■全般的業況の推移: マイナス 20.0 ポイントに悪化。3 カ月後も現状維持



■稼働状況(遊技料金別): 低貸メダルパチスロだけがわずかに改善



■みなし機撤去後の影響: パチスロに影響が大、遊技頻度は62.8%が「減る」



◇回答状況

79 企業、117 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI 値)結果

■全般的業況は悪化、3 カ月後は概ね現状維持の見通し

「全般的業況」は▲20.0 ポイント(前回比 17.1 悪化)まで悪化したが、3 カ月後は▲21.6 ポイントと概ね現状維持で推移する見通しである。

「稼働状況」は、パチンコ▲41.9 ポイント(前回比 28.6 悪化)、パチスロ▲3.7 ポイント(前回比 2.8 悪化)となった。3 カ月後の稼働状況の見通しは、パチンコ▲32.2 ポイント、パチスロ▲9.0 ポイントとなっている。

「資本投資気運(遊技機)」は▲16.7 ポイント(前回比 4.5 悪化)、3 カ月後は 1.9 ポイントまで良化する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は▲4.6 ポイント(前回比 0.5 悪化)、3 カ月後は 2.1 ポイントまで良化する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は、前回の▲61.3 ポイントから▲35.5 ポイントまで良化、3 カ月後は▲38.7 ポイントとやや悪化する見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

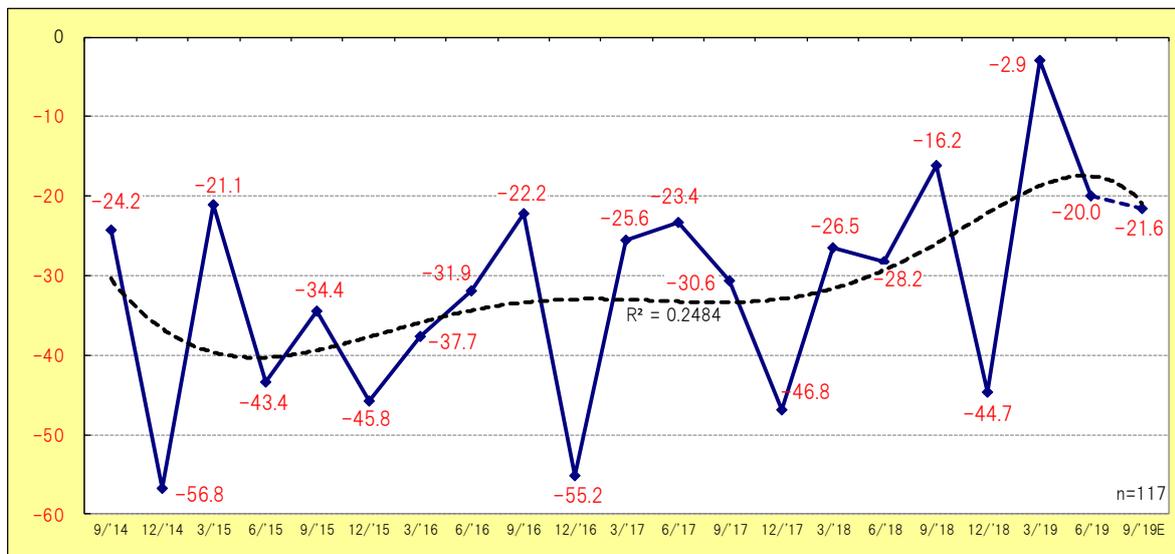
項目	業界天気 (下段 : DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 -2.9	 -20.0	 -21.6	現状は雨に悪化 見通しも引き続き雨
2. 稼働状況 (パチンコ)	 -13.3	 -41.9	 -32.2	現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
3. 稼働状況 (パチスロ)	 -0.9	 -3.7	 -9.0	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り
4. 資本投資気運 (遊技機)	 -12.2	 -16.7	 1.9	現状は引き続き雨 見通しは曇りに良化
5. 資本投資気運 (その他設備)	 -4.1	 -4.6	 2.1	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り
6. 不足感 (営業用設備)	 -9.4	 -15.0	 -13.7	現状は雨に悪化 見通しも引き続き雨
7. 不足感 (雇用人員)	 -61.3	 -35.5	 -38.7	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨

凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体) 注:2019年9月期(9/'19E)の数値は見通し

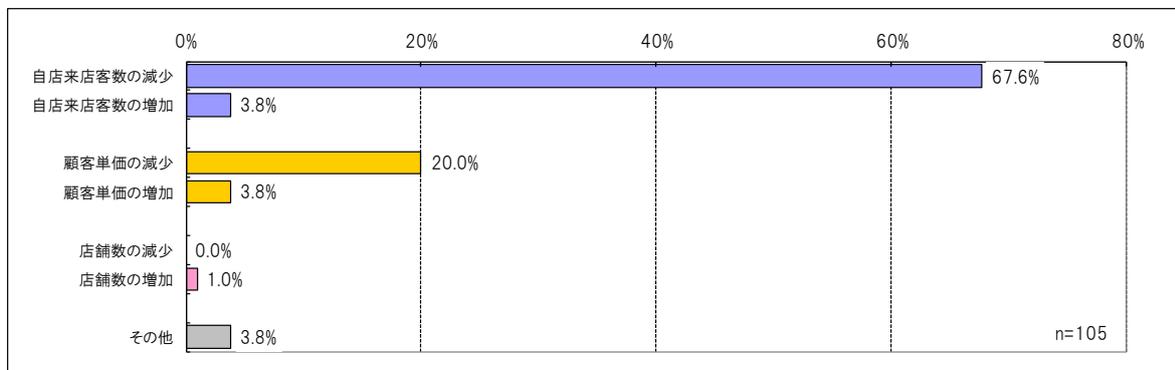
■全般的業況:全般的業況は悪化、3カ月後は概ね現状維持の見通し



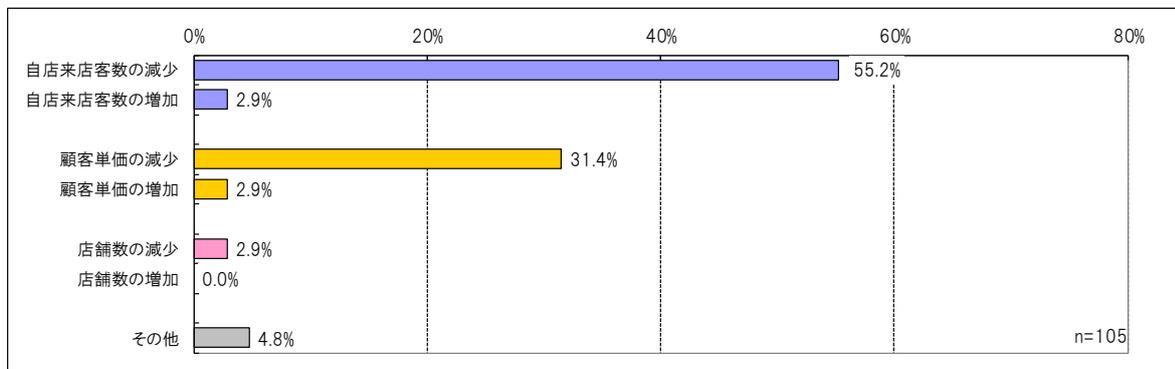
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲20.0ポイント(前回比17.1悪化)まで大幅に落ち込んだ。3カ月後は▲21.6ポイントとなり、概ね現状維持で推移する見通しである。

■全般的業況の悪化理由:現況と先行きで「来店客数の減少」がトップ

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)

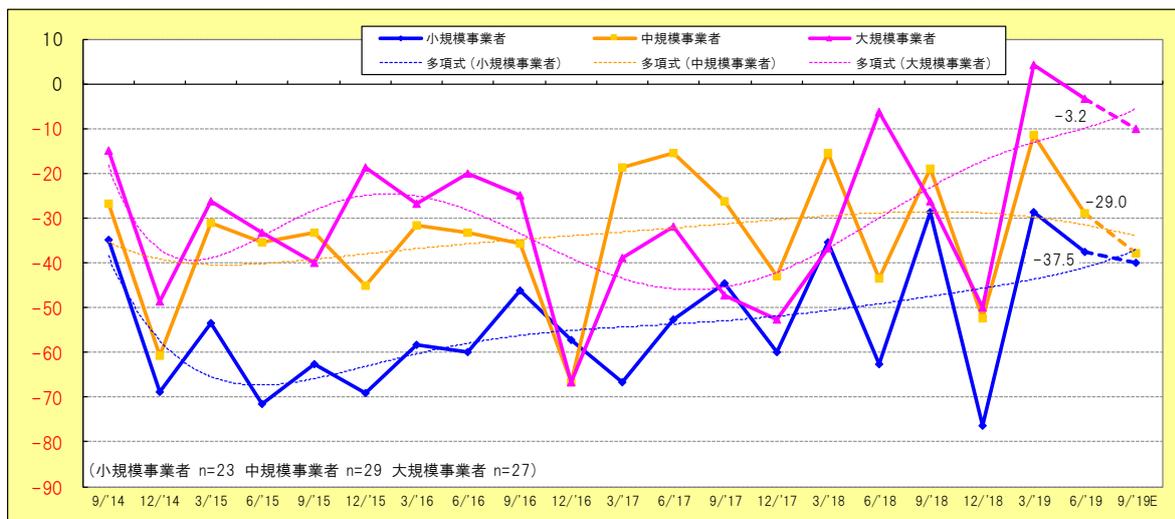


【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



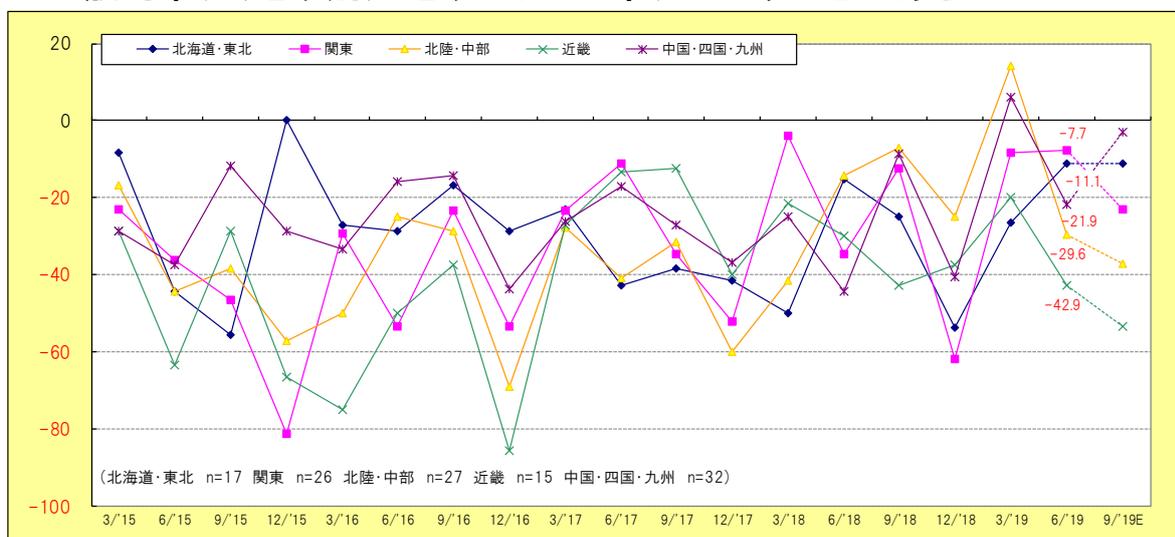
全般的業況(規模別・地域別) 注: 2019年9月期(9/19E)の数値は見通し

■全般的業況(規模別): 全事業者で悪化、3カ月後も悪化の見通し



事業規模別の「全般的業況」では、小規模事業者(1~3 店舗)が▲37.5 ポイント(前回比 8.9 悪化)、中規模事業者(4~10 店舗)が▲29.0 ポイント(前回比 17.5 悪化)、大規模事業者(11 店舗以上)が▲3.2 ポイント(前回比 7.6 悪化)となり、全事業者で業況に落ち込みが見られた。3 カ月後は全規模事業者で悪化する見通しである。

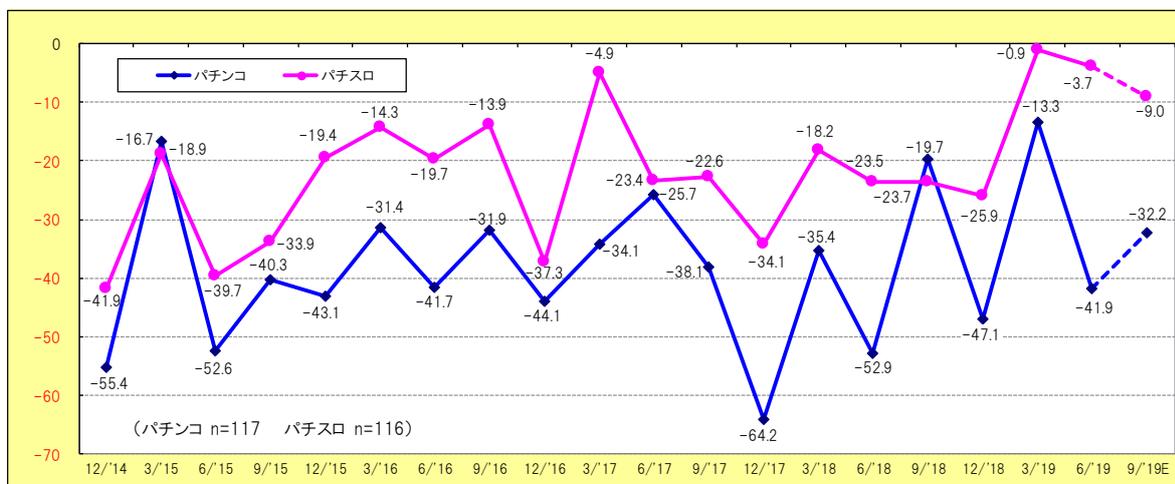
■全般的業況(地域別): 地域によって業況にバラつきがある



地域別の「全般的業況」は全地域で大幅に回復が見られた。最も業況が良かった地域は、関東で▲7.7 ポイント(前回比 0.6 良化)となった。以下、北海道・東北で▲11.1 ポイント(前回比 15.6 良化)、中国・四国・九州で▲21.9 ポイント(前回比 27.9 悪化)、北陸・中部で▲29.6 ポイント(前回比 43.9 悪化)、近畿で▲42.9 ポイント(前回比 22.9 悪化)となり、3 カ月後は中国・四国・九州で回復する見通しだが、関東、北陸・中部、近畿では悪化する見通しとなっている。

稼働状況(事業者全体) 注:2019年9月期(9/19E)の数値は見通し

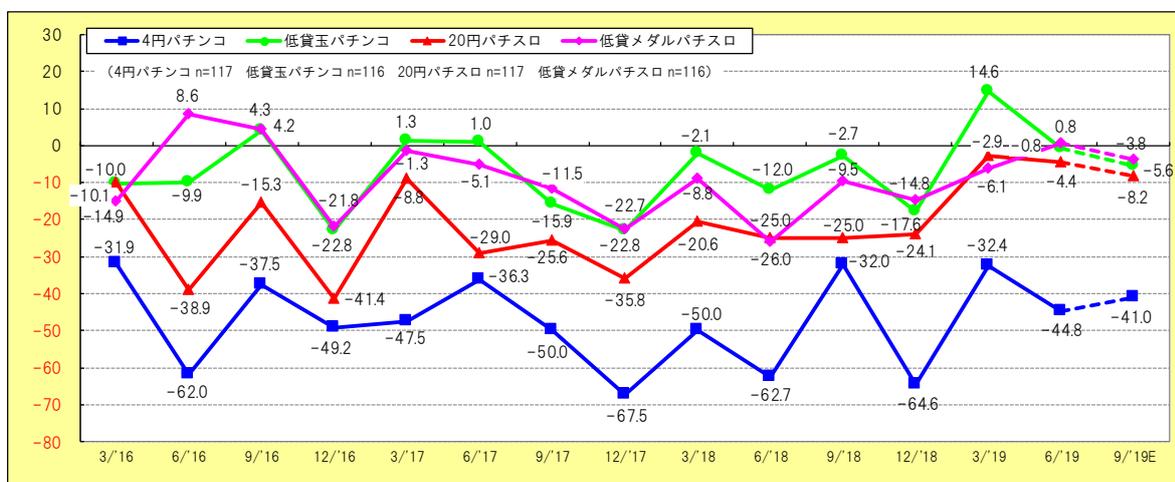
■ 稼働状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコ・パチスロ共に悪化



パチンコ稼働状況は▲41.9ポイント(前回比28.6悪化)まで大幅に落ち込んだ。3カ月後は▲32.2ポイントまで回復する見通しである。

パチスロ稼働状況は▲3.7ポイント(前回比2.8悪化)、3カ月後は▲9.0ポイントまでさらに落ち込む見通しである。

■ 稼働状況(遊技料金別):低貸メダルパチスロだけがわずかに改善



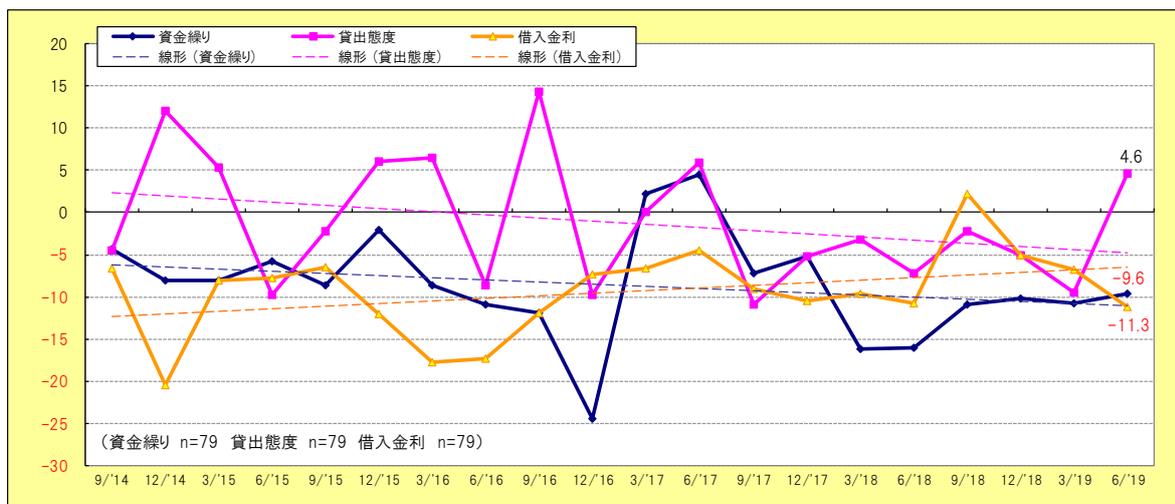
遊技料金別の稼働状況は、低貸メダルパチスロ以外は悪化が見られた。

通常貸し遊技料金において、4円パチンコの稼働状況は▲44.8ポイント(前回比12.4悪化)まで落ち込み、3カ月後は▲41.0ポイントとなる見通しである。20円パチスロは▲4.4ポイント(前回比1.5悪化)と概ね横ばいで推移し、3カ月後は▲8.2ポイントとやや悪化する見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲0.8ポイント(前回比15.4悪化)、低貸メダルパチスロは0.8ポイント(前回比6.9良化)となった。3カ月後の見通しについて、低貸玉パチンコは▲5.6ポイント、低貸メダルパチスロは▲3.8ポイントとなる見通しである。

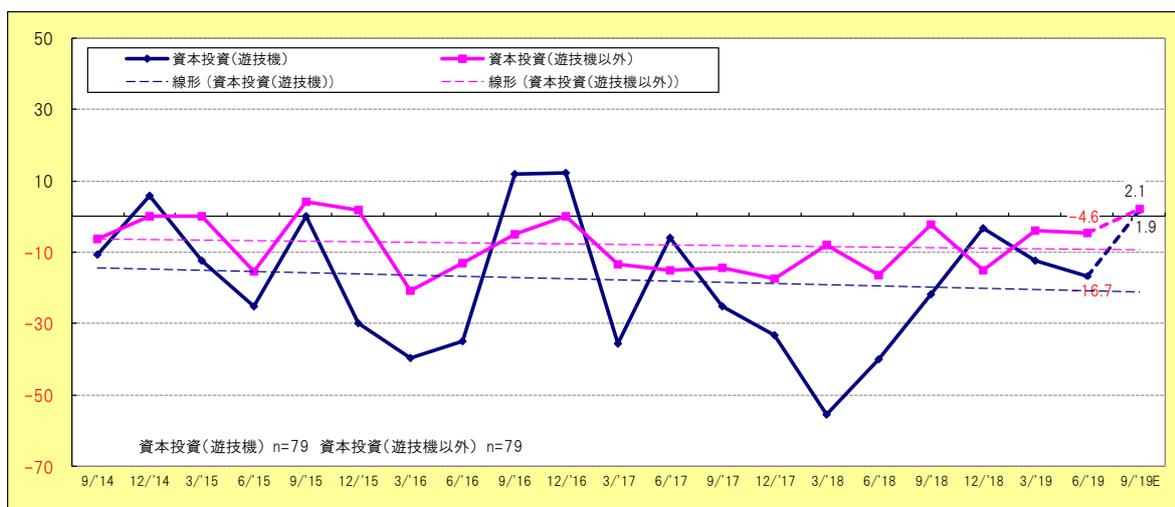
経営の現状(事業者全体) 注: 2019年9月期(9/19E)の数値は見通し

■ 企業金融: 貸出態度はプラスに転じる



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲9.6ポイント(前回比1.2良化)、「貸出態度」4.6ポイント(前回比14.1良化)、「借入金利」▲11.3ポイント(前回比4.5悪化)となった。

■ 資本投資気運: 遊技機は悪化も、遊技機以外は現状維持

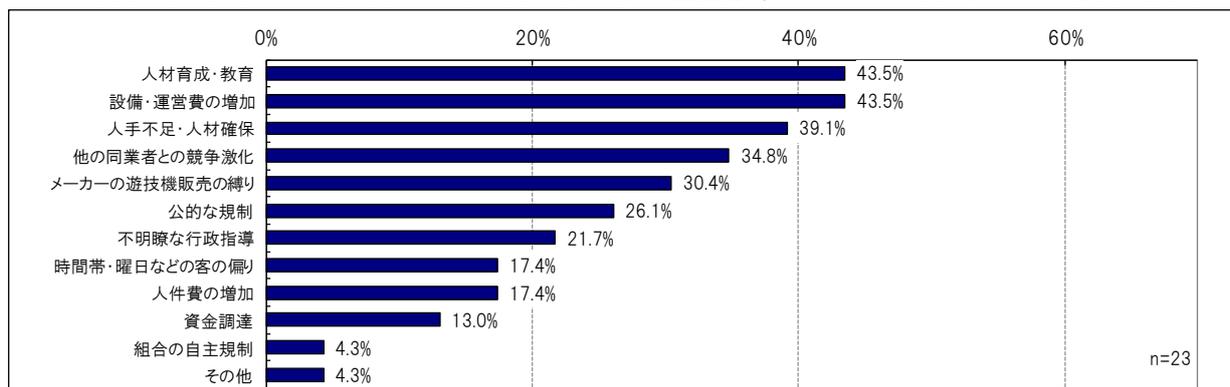


今回の「資本投資気運(遊技機)」は▲16.7ポイント(前回比4.5悪化)となり、悪化した。3カ月後には1.9ポイントまで回復する見通しである。

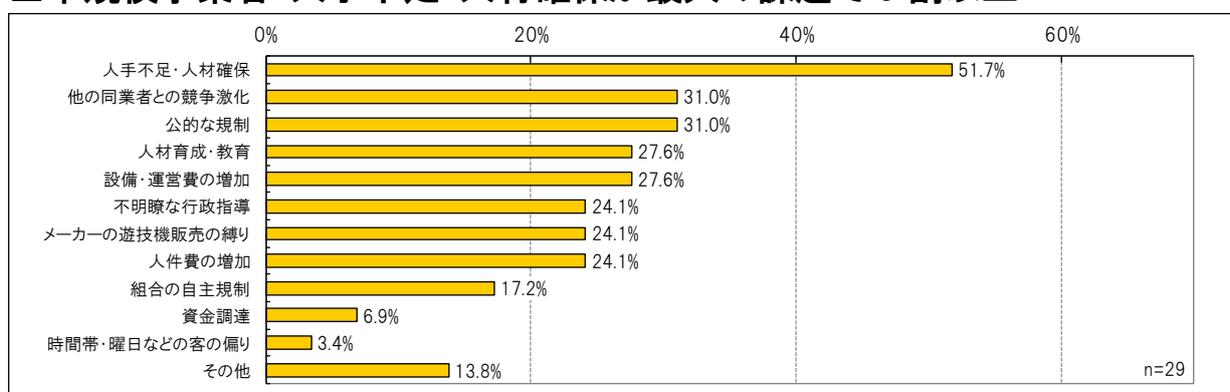
一方、「資本投資気運(遊技機以外の設備)」は▲4.6ポイント(前回比0.5悪化)と概ね横ばいでの推移となった。3カ月後は2.1ポイントとなり、やや回復する見通しである。

経営上の課題(事業者規模別) 注:複数回答

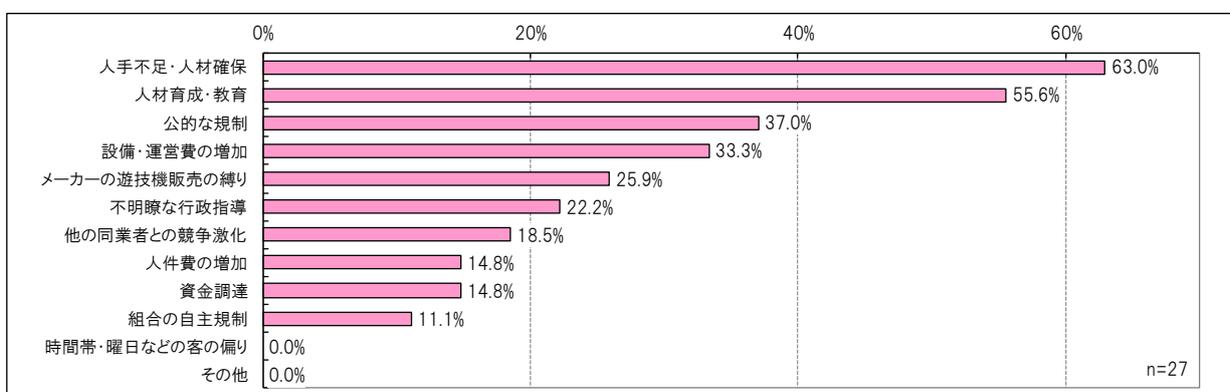
■小規模事業者:人材育成・教育と設備・運営費が最大の課題で4割台前半



■中規模事業者:人手不足・人材確保が最大の課題で5割以上



■大規模事業者:中規模と同様に、人手不足・人材確保が最大の課題



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、中規模と大規模事業者で「人手不足・人材確保」が最大の課題となっている。

小規模事業者(1~3店舗)では「人材育成・教育」「設備・運営費の増加」が同率で43.5%と最も高い。続いて「人手不足・人材確保」(39.1%)が高くなっている。

中規模事業者(4~10店舗)も小規模事業者と同様に「人手不足・人材確保」が51.7%と最も高く、続いて「他の同業者との競争激化」と「公的な規制」が同率で31.0%となっている。

大規模事業者(11店舗以上)においても「人手不足・人材確保」が63.0%と最も高い。2番目に「人材育成・教育」(55.6%)が高くなっている。

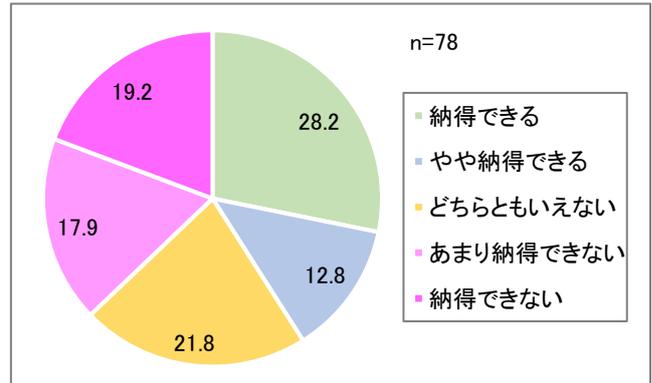
トレンド・ウォッチ「みなし機撤去の影響」について

■みなし機の年末撤去決定の感想:「納得できる」が最多で2割後半

右図は全日遊連が2019年末でのみなし機撤去を決定したことに対する感想を質問した結果である。

「納得できる」が最も高く28.2%となった。続いて「どちらともいえない」(21.8%)、「納得できない」(19.2%)の順で高くなっている。

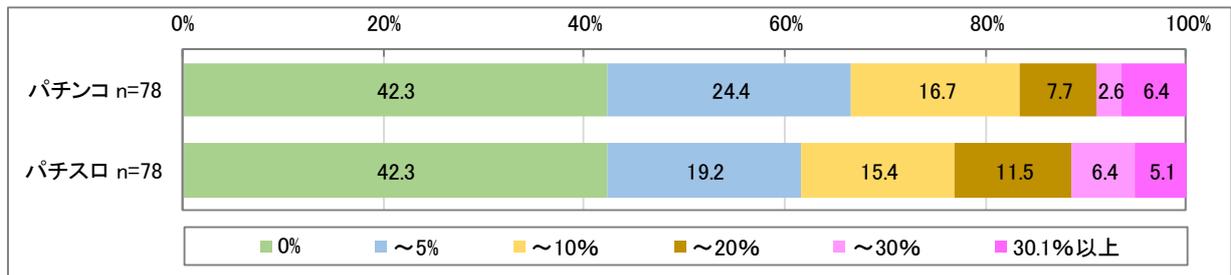
「納得できる」と「やや納得できる」を含めると4割以上が納得している結果となっている。



■みなし機の台数割合:パチンコ、パチスロ共に「0%」が4割以上

下図はパチンコ、パチスロ別にみなし機の設置割合について質問した結果である。

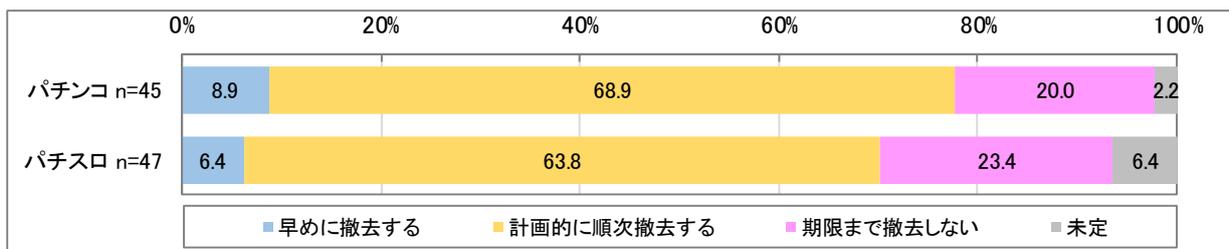
パチンコ、パチスロ共に「0%」が最も高く、同率で42.3%となった。以下、パチンコは「～5%」(24.4%)、「～10%」(16.7%)、「～20%」(7.7%)となった。パチスロも同様に「～5%」(19.2%)、「～10%」(15.4%)、「～20%」(11.5%)の順で高かった。「30.1%以上」の割合はパチンコ、パチスロ共に10%以下となっており、それぞれ6.4%、5.1%となっている。



■みなし機の撤去予定:「計画的に順次撤去する」が6割以上

下図はみなし機を設置している事業者にみなし機の撤去計画をパチンコ、パチスロ別に質問した結果である。

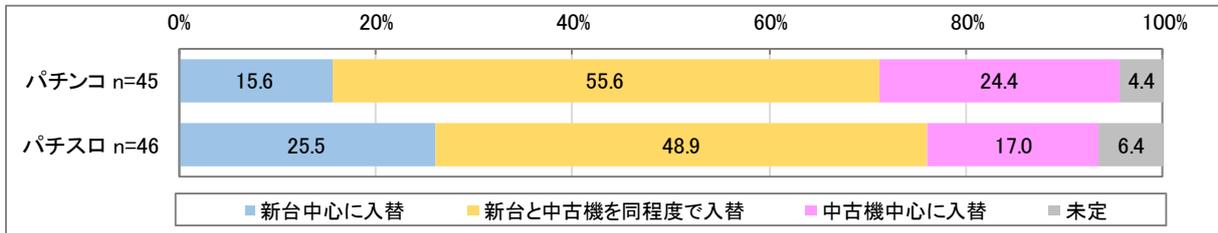
「計画的に順次撤去する」がパチンコ、パチスロ共にそれぞれ6割以上で最も高い。パチンコ、パチスロ共に2番目に高かったのが「期限まで撤去しない」でそれぞれ2割以上となった。以下、パチンコは「早めに撤去する」、「未定」の順で高かったが、パチスロは「早めに撤去する」と「未定」が同率でそれぞれ6.4%となっている。



■みなし機撤去後の入替:新台と中古機の入替が同程度が5割以上

下図はみなし機を設置している事業者にみなし機の撤去後の入替計画について質問した結果である。

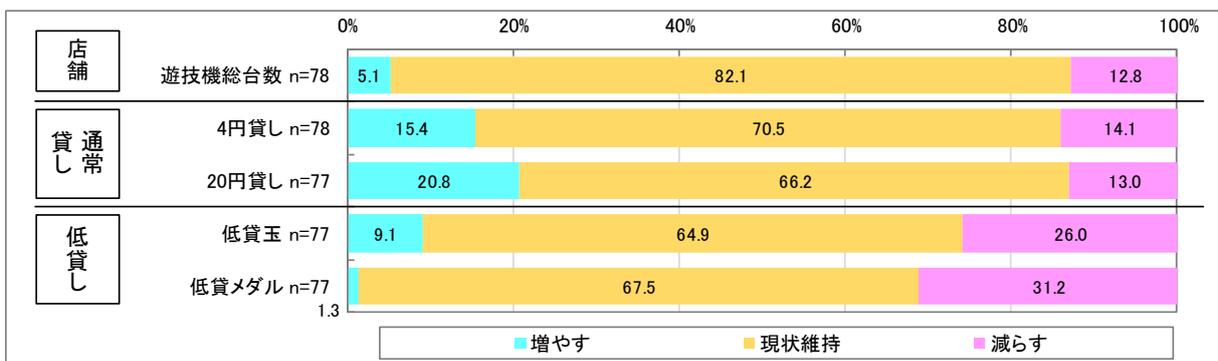
パチンコ、パチスロ共に最も高かったのは「新台と中古機を同程度で入替」で、パチンコは 55.6%、パチスロは 48.9%であった。2 番目に高かったのはパチンコが「中古機中心の入替」(24.4%)、パチスロが「新台中心に入替」(25.5%)となった。



■みなし機撤去後の増減台:「低貸メダル」は減らすが3割以上

下図はみなし機が撤去された後の遊技機の増減台について質問した結果である。

「現状維持」がいずれの項目でも最も高くなっており、中でも最も高いのは「遊技機総台数」(82.1%)であった。「通常貸し」では「4円貸し」「20円貸し」共に「増やす」割合が2番目に高かった。「低貸し」では「低貸玉」「低貸メダル」共に「減らす」割合が2番目に高く、「低貸メダル」では3割以上が「減らす」と回答している。

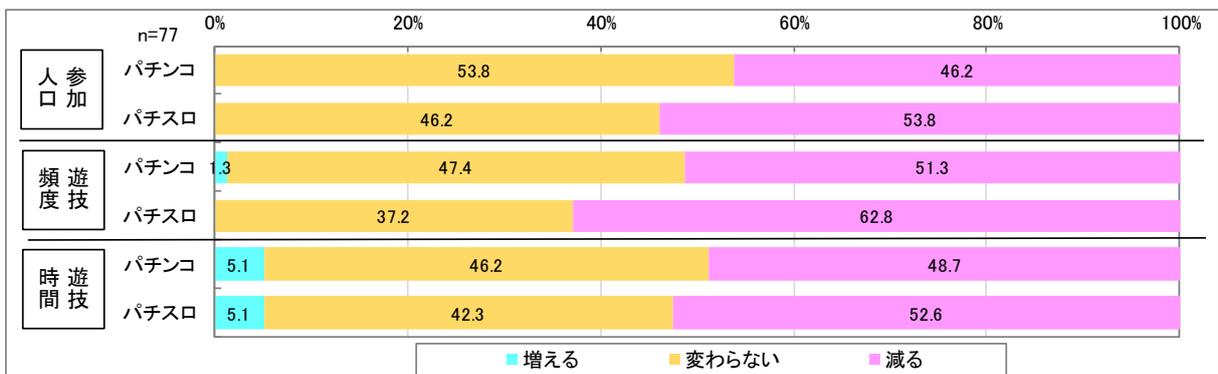


■みなし機撤去後の影響:パチスロに影響が大、遊技頻度は62.8%が「減る」

下図はみなし機が撤去された場合、遊技人口や遊技頻度、遊技時間の影響を質問した結果である。

パチンコよりもパチスロのほうが、「参加人口」「遊技頻度」「遊技時間」のいずれにおいても「減る」と回答する割合が高かった。なかでもパチスロの遊技頻度は62.8%が「減る」と回答している。

参加人口に関しては「増える」と回答している割合は0%となった。遊技頻度ではパチンコが1.3%、遊技時間ではパチンコ、パチスロ共にそれぞれ5.1%となった。



コメント(自由回答)抜粋

■「みなし機撤去の影響」および、現状・先行きに対するご意見

「みなし機撤去の影響」に関するコメント

- ◆遊技機の射幸性を抑制していくことが規則改正の主旨としてあるなかで、射幸性が低い遊技機以外のみなし機を直ちに撤去することは当然であるが、一方で比較的射幸性が低いみなし機を撤去していくことは、射幸性を下げていくことには繋がらない。撤去していく為の新規則機の適合率が依然として低い水準であり、市場への流通量も不足しているなかで、みなし機撤去を強制することは、中小ホールの負担を高め、結果としてホール数減少・遊技人口を減らしかねない判断であると考えている。(関東・大規模事業者)
- ◆最初に決めた通りにして実行してほしい。パチンコ屋の経営というよりも、企業の存続にかかわるところも出てくる。誰の思惑かわからないが、よく考えて物事は決めるべきだ。(九州・中規模事業者)
- ◆みなし機が多数設置されている現状では行政処分がないと従わないホールが出るのではないかと。昔から正直者が損をしている。(中部・中規模・東北・大規模事業者)
- ◆パチンコ店営業の基本、商売の基本をもっと学ぶべきと思う。意味のないみなし機撤去の事案を論じていないで他に大切なことが存在すると思う。(関東・小規模事業者)
- ◆今回の規則改正は矛盾の一言だ。(九州・中規模、中国・中規模事業者)
- ◆足並みを揃えるべきだと感じている。(関東・大規模、近畿・小規模事業者)
- ◆ルールの統一は良いが、足並みが揃わないのは問題。(九州・大規模、中国・中規模事業者他)
- ◆強制力のない、あくまでも申し合わせでどこまで撤去してくるのか注目している。(関東・小規模事業者)
- ◆みなし機は設置していないので、今回の規制は影響がなかった。(東北・小規模事業者)
- ◆みなし機がない当社としては平等となりメリットになると考えている。(関東・中規模事業者)
- ◆みなし機が全国に渡っており、様々な立場もあるので致し方ないのも承知はしているが、みなし機撤去に関しては大手企業有利の施策ばかりのような気がして不公平感がある。(関東・中規模事業者)
- ◆弊社はみなし機を最初から小台数にしていたため、大きな影響はない。ただし、設置台数比率が高いホールは依存度も高いと思われ、厳しい経営判断をする店も出てくると考えられる。(中国・大規模事業者)
- ◆保通協の適合率が低い状況でみなし機の撤去が進められるかが非常に不安。遊技機購入費を抑えたいが新台や中古の高騰で思うようにはいかなそうだ。(東北・大規模、関東・中規模事業者)
- ◆旧内規で高射幸機以外の機種は検定終了後に認定をしてほしい。(九州・中規模事業者)
- ◆みなし機の大半がパチンコは海、パチスロはジャグラーだが、前回の旧基準みなし機撤去時の特例を今回は無くしてもらいたい。小規模店舗ほど影響が大きく、正直者が馬鹿をみる。(中国・小規模事業者)
- ◆旧基準機・みなし機に執着し続けても時間の無駄だ。最終期限に向け旧基準機があるうちに新基準機の導入も前進させる。約1年半で全機種入替は無理かもしれないが頑張るだけだ。(中部・小規模事業者)
- ◆みなし機撤去は台の売買で利益を得るという本来とは違った商法に拍車がかかる懸念がある。(中国・小規模事業者)
- ◆過激ではない遊技機の撤去は緩和すべきである。(関東・中規模事業者)
- ◆今回に限らず、毎回遊技機の撤去を繰り返している。メーカーのための助成である。(中部・中規模、中部・小規模事業者)

現状・先行きに関するコメント

- ◆業界団体、組合で決めたことを守らないと行政はもちろん、お客様からの信用も失う。以前とは違ってネット社会のため、すぐに拡散する。2021年1月末で旧規則機は全て撤去となる。この難局に業界全体でまとまらなければ乗り越えられないと思う。(関東・大規模事業者)
- ◆淘汰されないように努力することが必要だ。(九州・小規模事業者)
- ◆パチスロ高射幸機 15%規制延期など、上の方で色々なことが勝手に決まって、いつも振り回されている感じがする。(北海道・小規模事業者)
- ◆高射幸性遊技機の撤去と消費税増税による遊技機購入費の増加、保通協の適合率の低下による代替機種などの供給減が予想され、現状の設置台数の減少などが予想される。(中部・中規模事業者)
- ◆再来年の新規則機への完全移行のほうが、当店にとって死活問題だ。資金的、機種の販売方法、機種の機械単価、すべてが重荷になっているため、**業種転換も考えている**。(中部・小規模事業者)
- ◆パチンコはまだ主要となる機種が目立たなく新機種も数が少ない。パチスロではごく一部の機種に若干の期待はあるが、パチンコと同様に**新機種の数が足りない**。(東北・大規模事業者)
- ◆規則改正の目的が射幸性を抑制し依存症を減らすということであれば、単価の低いものに関しては引き続き設置したいという思いはある。許可産業であるかぎり、法の運用には従わざるを得ないが、**であれば根拠を持って抗弁していくべきだ**。(関東・小規模事業者)
- ◆尾立氏の発言にもあるように、**業界の利益を代表(代弁)する国会議員がいないのは確かに異常であり、改善を願う**。同氏の政治家としての経歴やスタンスもバランスの取れたリベラル保守だろうから、多くの中小企業で構成される当業界としては、現時点では期待が持てる人物ではないか。(東北・大規模事業者)
- ◆自社ではみなし機撤去は規則に沿って期限内に完了済である。尾立議員の擁立など、業界の立場や意見を、政治家を通して明確に国家行政へ主張していこうとする全日遊連の執行部の戦略に賛成だ。(中部・大規模事業者)
- ◆メーカーの危機感と参院選の相関、不退転の決意が見え隠れする。(近畿・大規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-28.6	-37.5	-40.0	-11.5	-29.0	-37.9	4.3	-3.2	-10.0	-2.9	-20.0	-21.6
稼働状況(パチンコ)	-42.9	-68.2	-47.8	-33.3	-50.0	-53.6	-16.7	-35.7	-29.6	-13.3	-41.9	-32.2
稼働状況(パチスロ)	-33.3	-30.4	-30.4	-7.1	-12.9	-25.8	-4.2	-3.4	-6.9	-0.9	-3.7	-9.0
資本投資気運(遊技機)	-14.3	-17.9	-6.7	-21.4	-25.0	-2.7	0.0	-6.7	13.9	-12.2	-16.7	1.9
資本投資気運(その他設備)	-14.3	-16.0	-15.4	-3.6	3.2	11.8	4.2	-3.2	5.9	-4.1	-4.6	2.1
不足感(営業用設備)	-33.3	-21.7	-21.7	0.0	-20.0	-20.0	-4.2	-17.9	-6.5	-9.4	-15.0	-13.7
不足感(雇用人員)	-71.4	-29.2	-33.3	-71.4	-50.0	-51.6	-66.7	-55.6	-59.3	-61.3	-35.5	-38.7

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-26.7	-11.1	-11.1	-8.3	-7.7	-23.1	14.3	-29.6	-37.0
稼働状況(パチンコ)	-40.0	-35.3	-23.5	-15.4	-48.0	-36.0	0.0	-55.6	-51.9
稼働状況(パチスロ)	-20.0	-10.5	-10.5	-14.8	8.3	-12.0	14.3	-7.4	-11.1
不足感(営業用設備)	-20.0	-11.1	-10.5	-14.8	-11.5	-11.5	0.0	-18.5	-22.2
不足感(雇用人員)	-46.7	-23.5	-35.3	-63.0	-42.3	-50.0	-57.1	-33.3	-33.3
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-20.0	-42.9	-53.3	6.1	-21.9	-3.1	-2.9	-20.0	-21.6
稼働状況(パチンコ)	-20.0	-57.1	-42.9	-6.1	-25.0	-15.6	-13.3	-41.9	-32.2
稼働状況(パチスロ)	0.0	-35.7	-35.7	9.1	6.3	3.1	-0.9	-3.7	-9.0
不足感(営業用設備)	-30.0	-33.3	-20.0	0.0	-9.4	-9.4	-9.4	-15.0	-13.7
不足感(雇用人員)	-80.0	-73.3	-66.7	-63.6	-28.1	-31.3	-61.3	-35.5	-38.7

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-23.5	-23.8	-36.4	-19.0	-17.9	-9.7	9.1	12.5	10.0	-10.2	-10.8	-9.6
貸出態度	0.0	-19.0	-4.2	-19.0	-17.9	6.1	4.5	8.3	10.0	-5.1	-9.5	4.6
借入金利	0.0	-4.8	-13.0	-4.8	-7.1	-13.8	-9.1	-8.3	-7.1	-5.0	-6.8	-11.3

* 全般的業況 n=117、稼働状況(パチンコ)n=117、稼働状況(パチスロ)n=117、資本投資気運(遊技機)n=79、資本投資気運(その他設備)n=79、不足感(営業用設備)n=117、不足感(雇用人員)n=117、資金繰りn=79、貸出態度 n=79、借入金利 n=79

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査。(株)エンタテインメントビジネス総合研究所と(株)シーズによる共同調査である。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の4団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有効パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2019年6月14日～2019年6月28日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

https://www.eb-i.jp/description_of_business/di/

<http://www.sees.co.jp/>

◇回答状況：

79企業、117地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階

Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 Web:www.eb-i.jp



パチンコ業界のマーケティング

株式会社シーズ

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F

Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 Web:www.sees.co.jp/